

平成 20 年 9 月 17 日

2007 年度以降入学生
環境都市工学部
エネルギー・環境工学科 「HAND BOOK」 記載内容の変更について

「実験科目の履修条件」について、下記の通り、取扱いを変更します。

記

【変更箇所】

「HAND BOOK」

エネルギー・環境工学科 卒業に必要な単位数および授業科目一覧

「2 実験科目の履修条件について」

【変更内容】

(変更前)

- (1) 2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を履修するには、1 年次配当の専門教育科目の「物理学実験」および「化学実験」を修得し、その他の必修科目 10 単位のうち 6 単位以上、合計 8 単位以上を修得していること。
- (2) 3 年次配当の「プロセス工学実験」および「環境工学実験」を履修するには、2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を修得し、その他の 1・2 年次配当の専門教育科目の必修科目 32 単位のうち 22 単位以上を修得していること。



(変更後)

「分析化学実験」「物理化学実験」「プロセス工学実験」および「環境工学実験」を履修するには、履修する前年度秋学期末までに次の要件を具備していなければなりません。

- (1) 2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を履修するには、1 年次配当の「物理学実験」および「化学実験」を修得し、その他の 1 年次配当の専門教育科目 の必修科目 10 単位のうち 6 単位以上、合計 8 単位以上を修得していること。
- (2) 3 年次配当の「プロセス工学実験」および「環境工学実験」を履修するには、2 年次配当の「分析化学実験」および「物理化学実験」を修得し、その他の 1・2 年次配当の専門教育科目の必修科目 32 単位のうち 22 単位以上を修得していること。

以上